

からこんにちは！

小中学校

劇団風の演劇公演

5月16日（金）に町民体育館で、東京から劇団風の皆様を招き、「ヘレン・ケラー」の公演を鑑賞しました。

公演前から児童生徒たちは舞台の様子に興味津々で、実際に舞台上がって、劇の道具に触れたり、劇団員の方に話を聞いたりしていました。午後からは中学生と劇団員の方の交流会があり、劇団員の仕事のやりがいや魅力などについて



▲ 舞台のセットに触れる生徒たち

て話を聞き、自分の将来を考える大きなきっかけとなる時間を過ごすことができました。

〈児童・生徒の感想〉

小学4年 福島 光莉

ヘレン・ケラーとサリバン先生の関係や、サリバン先生がどのような工夫をして、言葉を教えたのかがよくわかりました。一番すごいと思ったのは、サリバン先生が、ヘレンにものごとを教えて、それをヘレンがわがらうとしている姿です。全体もすごく魅力的でした。



▲ 劇団員と話をし交流

中学2年 新 遥花

演劇を初めて生で観て、本当に迫力がすごいなと思いました。私が一番感動したのは、最後のクワイマックスのシーンです。聴覚や視覚がないヘレンがどうかしてお父さんやお母さん、アニーと話そうとしている姿勢にすごく心動かされました。午後の交流会では、いろいろな劇団員さんのお話を聞く中で、役者という仕事の魅力ややりがいなど、たくさんお話を聞けて良かったです。今回の公演会や交流会を通してすごく勉強になりました。



▲ 舞台の音響の説明を受けている様子

小学校

春の遠足

5月2日（金）に、1・2年生合同の遠足がありました。

出発時は小雨が降っており、行けるかどうか心配する様子もみられましたが、いかあ屋に着くころには、雨も上がり、いい天気です。スタートすることができました。1年生にとっては初めての遠足でしたが、2年生と手をつないで、「がんばろうね！」といった声かけや、2年生が道路側を歩こうとする様子も見られ、元気に歩き切ることができました！島根鼻でも一緒にお弁当を食べたり、おにごっこをしたりと、みんなで楽しみなながら遊ぶ様子も見られ、1・2年生の交流を深めることができました。

3・4年生合同の遠足は出発時に小雨が降っており、カップを着用してのスタートとなりましたが、目的地に近づくにつれて徐々に天候も回復していきました。大山遊泳場に到着する頃にはちょうどいい気候の中で活動することができ



西ノ島小中学校



▲ 長い距離も元気に歩きます (3・4年生)



▲ パワー充電お昼休憩 (1・2年生)

ました。昨年よりも長い行程を歩くといいことでしたが「あとちょっとだよ!」「まだまだ余裕!」などプラスの発言も多く見られ、最後までお互いに声をかけ合いながら元気に歩き切ることができました!



5・6年生の遠足は生憎の雨模様で、「先生!遠足行きますよね!」と心配していましたが、次第に雨も上がり、無事遠足を実施することができました。高学年は赤尾展望所まで出かけました。急な坂道に負けることなく、みんなで声をかけ合いながら歩ききることができました。到着後は、お弁当を美味しくそうに食べる姿や赤尾展望所から見る国賀の絶景に改めて感動する姿が見られました。



▲ 赤尾展望所まで登り切りしました! (5・6年生)



▲ 木田川医師の講演の様子

中学校

地域医療交流会・講演会

5月19日(月)に地域医療講演会を実施しました。島前病院から木田川医師を招き、離島の医療についてさまざまな面からお話をいただきました。23日(金)には4名の医療従事者を招き、交流会を実施しました。生き方学習として、人生グラフを用いて話をしただけ、中学生は色々な視点をもって、自分の生き方について考えるきっかけとなりました。

生徒の感想

3年 山根 一夏

夢を叶えるためには努力を続けることが大切だと感じました。木田川さんが一浪、二浪したと聞いたときは驚きました。私だったら諦めてしまうかもしれないし、逆にそこまで苦労したから、夢をつかむことができたと思います。

また、離島の医療については良くないイメージの方が大きかったけれど、今回の話を聞いて、離島だからこそできる、一人一人に寄り添うことや人々の強い関わりなどメリットもあるのだなと思いました。将来、どんな形であれ西ノ島に帰ってきたいです。



▲ グループに分かれ詳しく聞きました